

日韓トンネル通信

編集/発行
特定非営利活動法人
日韓トンネル研究会

事務局：東京都千代田区飯田橋4-1-11
〒102-0072 信濃ビル6階
TEL 03-3265-8813 FAX 03-3237-1012
E-mail office@jk-tunnel.or.jp

九州事務所：福岡市南区老司3-5-28-605
〒811-1346
TEL 092-566-7110
☎0120-09-2188



(報告)第13回通常総会が行われました。

第13回通常総会が6月21日(火)アルカディア市ヶ谷私学会館で開催された。

【会長挨拶】



野澤太三会長

冒頭の挨拶で野澤会長は、昨年11月に3年半ぶりにソウルで日中韓首脳会議が開かれ、また今年3月には中国の全人代で台湾海峡の海底トンネル計画が発表されたことをあげ、「同じ志を持つ者が一緒に勉強できる環境が整いつつある」と語った。

また日韓両国の首脳が1990年以来、3度に渡り日韓トンネルの建設に言及しながらも、事務方のフォローがなく話が中断したことについて、「今は逆に事務方がリーダーシップをとってトップに働きかける段階に来ている」と強調した。

さらに今年3月に開業した北海道新幹線について、長大海底トンネルを新幹線が走るこ

とは大きな前進としながら、青函トンネルの抱えている設計・施工・運営・メンテナンス面の課題を明らかにすることが日韓トンネルを進めるうえで大いに参考になると語った。

【来賓挨拶】

国土交通省の江島潔政務官からの祝電披露の後、来賓として釜山から来日した社団法人韓日トンネル研究会の共同代表ソ・イテク(徐義澤)、イ・ヨンフム(李龍欽)両氏の紹介があり、イ・ヨンフム氏が来賓として挨拶した。



ソ・イテク氏



イ・ヨンフム氏

挨拶のなかでイ・ヨンフム氏は「30年以上に渡り日韓両国の中で日韓トンネルの推進のために民間団体が活動を継続して来たことは驚くべきことであり、それは『二国を結ぶ海底トンネルの建設が必須だ』という強い信念を我々が共有しているからです」と語り、「韓日両国の明るい未来を拓く先駆者としての使命感と自負心を抱き、共に努力して行きましょう」と結んだ。

【事業・決算報告】

議事では野澤会長が議長に選出され、事務局から平成27年度の全体経過報告と事業活動報告、活動決算報告があり承認された。なお、これら審議・承認された各種報告書は当会の所轄庁である東京都がインターネット上に

公開している「NPO 法人ポータルサイト」にて誰でも閲覧できる。

【事業・予算案審議】

次に平成 28 年度の事業計画と活動予算案を審議し承認された。

【役員改選】

副会長、常任理事、理事に次の 5 名の新任が承認された。

◇副会長

- ・大島 洋志：国際航業㈱技術本部最高技術顧問

◇常任理事

- ・北川 修三：基礎地盤コンサルタンツ㈱技師長
- ・桑原 彌助：日本交通技術㈱社友
- ・永野慎一郎：大東文化大学名誉教授

◇理事

- ・小山 幸則：立命館大学総合科学技術研究機構客員教授

野澤会長は、日韓トンネルのゴーサインが出る時の準備を着実に進めたいと語り、新任役員の就任挨拶の後、各人を紹介した。



大島洋志氏

大島副会長：私は他界した濱建介副会長に勧められて 10 年程前にこの会に入りました。これまで副会長になるという展開は考えていませんでしたが、少しでもお手伝いできるよう頑張ります。

野澤会長：大島さんは地質の専門家であると同時にトンネル工法について極めて造詣の深い方です。大変心強く期待しています。



北川修三氏

北川常任理事：私もかつて濱さんから是非協力して欲しいと頼まれ入会した次第です。自分の持っている知識を何とかお役に立てられよう引き続き頑張ります。

野澤会長：北川さんは国鉄在職時代に上越

新幹線の中山トンネル等の難工事を仕上げたご経験をお持ちです。それを生かして戴きたいと思います。



桑原彌助氏

桑原常任理事：野澤会長とは半世紀以上の随分長いお付き合いで、そのご縁でこの会に入っています。微力ながら一生懸命やります。

野澤会長：桑原さんの親父さんの桑原弥寿雄先生には、私が駆け出しの頃ルート選定の極意を授けられた大恩があります。その息子の桑原さんは現在、日本トンネル技術協会の事業委員会委員長の要職に在ります。今後のご活躍に期待します。



永野慎一郎氏

永野常任理事：ある新聞に日韓トンネルの記事を書いたことがきっかけで野澤先生と会い、一緒にやることになりました。

野澤会長：永野先生は日韓両国のお国柄をよくご存じです。東アジアという大きな視野で日本と韓国を繋ぐ外交面でご活躍されており大変心強いです。



小山幸則氏

小山理事：私はトンネル屋で特にシールド工法との関係を長くやっています。何かお手伝いできればと思っています。

野澤会長：小山さんは国鉄在職中からトンネル分野を勉強され、現在は日本トンネル技術協会「トンネルと地下」の編集委員長という情報収集面で一番よいポストにあり、大いに期待しております。

総会終了後の講演会では、野澤太三会長が「北海道新幹線の開業と今後の課題」をテーマに講演した。

なお、講演内容は本紙の次号に掲載します。